



バンコク便り



1. はじめに



バンサーン大使ご挨拶

2018年11月5日に弊行が事務局を務める山形県タイ友好協会が設立されました。本協会設立に際し、タイ王国駐日特命全権大使バンサーン・ブンナーク閣下ご一行をお招きし、同日に開催されたタイ経済セミナー及び設立記念パーティーには多くの会員の皆さまにご出席いただき、お陰様で大盛会のうちに終了することができました。今後予定されている交流事業等を通し、山形県とタイとの関係をより深いものにできるよう活動して参る所存です。それでは今回は本セミナーにもあった観光の情報を中心に当地情報についてお伝えいたします。

2 当地ビジネス情報

タイの観光事情について

2017年から2018年度にかけタイの観光は「ラグジュアリー&ローカルエクスペリエンス（ぜいたくな商品、独特の生活文化）」をコンセプトとし、富裕層をターゲットに据えた戦略を打ち出しております。タイは主に5つの地域（中央部、北部、東北部、東部、南部）に分けられ、それぞれの地域毎に隠れた見所がたくさんあります。例えばリゾートで有名なプuket島などがありますが、それ以外にも日本人にあまり知られていないリゾートが数多くあり、他にもゴルフ、マラソン及び遺跡等の観光素材も多く学生からシニアまで幅広い層に魅力的な国となっています。最近では、人気アイドルグループの乃木坂46がタイ政府観光庁より日本における「タイ観光大使」として委嘱を受ける等、若い女性の取込みにも積極的です。

他方、タイでは日本へのインバウンド観光誘致イベントも頻繁に行われており、毎年定期的で開催されるタイ旅行博（ITIF: THAI INTERNATIONAL TRAVEL FAIR）やJAPAN EXPOでは食・観光はもちろん、留学や就活イベントも含め、あらゆる日本の文化が発信されております。近年は、郊外や地方の大型ショッピングモールでも観光・物産イベントが開催されるなど日本に関する情報発信エリアがバンコク中心部以外にも拡大する中、既に東京や大阪等を経験したタイ人が日本の「地方」にも新たな魅力を感じつつあります。今後、山形（東北）からも積極的に情報を発信し相互の交流を増やしていくことが重要なテーマであるとの思いを、ここバンコクの地においても一層強くしております。



タルタオ国立海洋公園(タイ南部)

3 現地トピックス

2018年11月10日にバンコクの新たなランドマークとなる大型複合商業施設「ICONSIAM（アイコン サイアム）」が開業しました。総事業費は540億バーツの大規模プロジェクトとなり、国内最大級の商業施設や高級コンドミニアムなどがあります。特にキーテナントとして入居した高島屋は、当地に住んでいる日本人にも高い関心があります。取扱い530ブランドのうち、日系は170ブランド、うち約80ブランドがタイ初進出となっており、他にも日本食のフードコートや北海道のアンテナショップ「どさんこプラザ」も出店する等、日本人以外にも多くのタイ人、観光客で賑わっています。立地はバンコク中心部から離れており、BTS(高架鉄道)最寄り駅から徒歩15分以上となっていますが、頻繁にシャトルボートが出ているため、そちらを利用している方が多いようです。また建設中のモノレールが開通すれば、駅から直結となり、ますます利便性が向上する見込みです。バンコクの最新スポットとして、今後も注目が集まります。



ICON SIAM 外観

※ サイアム高島屋は地上7階（各フロア）
に売場を展開

【本件に関する連絡先】 地方創生部 海外業務G 石井、榎 023-626-9050
バンコク駐在（カシコン銀行ジャパンチーム）齋藤 +66-(0)63-206-2823